

「高松市塩江道の駅エリア整備基本計画（案）」のパブリックコメント実施結果

本市では、令和2年10月1日（木）から11月2日（月）まで、「高松市塩江道の駅エリア整備基本計画（案）」についてのパブリックコメントを実施しました。いただいた御意見の要旨及びそれに対する本市の考え方を、以下のとおりまとめましたので、公表いたします。

（１）意見総数 116件（60人、1団体）

（２）いただいた御意見（要旨）とそれに対する市の考え方

※御提出いただいた御意見は、趣旨の変わらない範囲で、簡素化及び文言等の調整をしています。

No.	御意見（要旨）	本市の考え方
第1章 基本計画の位置付け		
1	<p>基本計画の位置づけについて、どういう位置づけなのか分からない。</p> <p>この計画が道の駅の整備内容が決まるまでの何であるかを明確に示すべき。基本計画の次は何なのか？何か決まっているのか？決まるまでの過程を計画にて明示されたし。要はこの後どうなるの？医療施設における「高松市新病院基本計画」も同様で、計画を根拠にすることを後付けでやっている。</p>	<p>高松市塩江道の駅エリア整備基本計画（案）（以下、「基本計画（案）」という。）の「1.2 基本計画の位置付け」に記載のとおり、本市では、高松の奥座敷とも言われる塩江温泉郷を「オンリーワンの価値を持つ温泉郷」に磨き上げるための指針として、平成29年3月に「塩江温泉郷観光活性化基本構想」を策定しています。基本計画（案）は、この構想の実現に向けた取組みの一環として、「道の駅エリア」において、物販・飲食、温浴、観光情報発信等の複合的な機能を持つ観光関連施設と医療施設の一体的な整備を行うことで、塩江温泉郷のシンボルとなる新たな交流拠点づくりを目指す計画であり、そのコンセプトや配置機能・規模などを整理するものです。</p> <p>基本計画策定後には、具体的な施設の設計を行う予定であり、事業完了までのスケジュールにつきましては、「第7章 今後の進め方」に記載のとおり想定しております。</p>
第2章 塩江温泉郷について		
2	<p>アンケート調査は有意なものか。</p> <p>道の駅利用者平日88名、休日66名、また、業界団体に対して配付数：100通、回答数：46通のアンケートが本計画の参考とされ、根拠にも使われているが、地域住民の声は届いているのか。また、このアンケート数は関係する地域住民や道の駅利用者数と比べて有意な数字と言えるのか？根拠を示されたし。</p>	<p>基本計画（案）の「2.3 塩江温泉郷の実態調査」につきましては、平日と休日の10:00～16:00の間、道の駅「しおのえ」と「行基の湯」の利用者の実態を調査したものです。また、「2.4 道の駅エリアの需要動向等に関するアンケート調査」につきましては、観光振興や産業振興の観点から、道の駅エリアにおける需要動向等を把握するため、地域の観光や産業の振興に携わる高松市中央商工会、塩江温泉観光協会及び塩江温泉旅館飲食協同組合の全ての構成者を対象にアンケート調査を実施したものであり、貴重な御意見をいただいているものと存じます。</p> <p>なお、今後実施予定の基本設計等を進めていく上で、地域住民との意見交換や関係団体等へのヒアリングを行うとともに、ワークショップの開催についても検討するなど、地域の皆様からも愛される道の駅となるよう努めてまいります。</p>
3	<p>サイクリストを誘致することの重要性はわかったが、193号線の車道を走る自転車は危険で、地元住民は困り始めている。国道を走る場合は（歩行者のほとんどいない）歩道に誘導したり、香川県自転車道の利用を推奨したりなど、対策はできないか。</p>	<p>豊かな自然に恵まれた塩江地区は、サイクリストにとっても魅力的なエリアであると存じており、昨年度は、香川県と連携し、塩江地区をめぐるサイクリングルートを高松ルートとして設定し、香東川自転車道などのルート情報や観光情報、交通ルールとマナーなどを掲載した「KAGAWA Cycling Map 高松ルート版」を作成いたしました。引き続き、香川県と連携しながら、安全面にも配慮した情報発信等に取り組んでまいります。</p>

No.	御意見（要旨）	本市の考え方
第3章 基本方針		
4	<p>コンセプトに矛盾と違和感を感じる。</p> <p>「道の駅は観光の目的地にする」とあるが、“拠点”はあくまで活動の足場になる基となる地であって、目的地になるとそこで終わってしまう。続いて、にぎわい・交流の拠点や健康づくりの拠点とあるが、その“拠点”も目的地に位置付けているのではないか。更に、健康づくりと医療施設を同じ括りの中に収めようとしているが、本計画書中にその具体的な関連は見当たらない。もっと言うと、“ケ”（日常）を真ん中におくと、“ハレの場”ともくろむ施設（道の駅）と、医療施設は全く反対側に位置するものだ。</p>	<p>コンセプトにおける「拠点」の表現は、道の駅が塩江地区において「にぎわい・交流」や「健康づくり」などに関し、核となる重要な役割を果たす場となるという観点で使用しています。また、約1300年前に名僧行基により温泉が発見され、その後、空海が湯治を万人に勧めたと伝えられる塩江温泉郷の歴史を背景に、温泉施設や塩江の食を提供する施設、医療施設の一体的整備と活用によって、塩江らしい健康づくりの場が提供できることになるものと存じております。</p>
5	<p>オンリーワンの価値をもつというのは、建築物すべてに共通することであり、オンリーワンとは、どのようにすれば実現するのか、そのビジョンを示すコンセプトを明確にするべきです。コンセプトは市が決めず、その検討を含めて、設計委託をする予定ですか。</p> <p>予算要求のために、数学的に床面積を仮決定するのは必要なステップと思いますが、オンリーワンの道の駅にはどのような用途・機能が必要かの検討がないと思います。明確なコンセプトがないために、他の施設の良いところどりをしていただいているだけになっています。</p> <p>（理由）</p> <p>ここでしか体験できないことは何かを突き詰めていただき、わざわざ行きたくないような魅力的な施設を整備してほしいと思います。県民に愛されない施設に、観光客は訪れないと思います。</p>	<p>基本計画（案）の「第3章 基本方針」に記載のとおり、豊かな自然環境と温泉地としての歴史、そこに医療施設を連携させることで、ここにしかないオンリーワンの価値を創出することとしております。また、3つの整備方針を掲げ、「5.2.1 導入機能の一覧」において、各導入機能に対応したコンセプトについて記載をしております。</p> <p>また、基本計画（案）は、おおよその規模を想定したもので、今後、実施予定の基本設計等において、導入する機能や規模、平面計画等について、具体的に精査してまいります。</p> <p>施設設計にあたっては、地域の皆様に愛され続ける施設となるよう、地域住民や関係団体等の御意見を伺いながら、進めてまいります。</p>
6	<p>平凡で図面をうめました感、おもしろいデザインが欲しい。</p> <p>これからの道の駅にも他と異なる、人を引きつける事が大切だと思う。桜川ダムも完成、水害の心配のない安全を前に出し、橋に車や店等が有り、おもしろい（災害に強）デザインを公募し、塩江で今何が起ころうと全国にアピールできるようにしてほしい。</p>	<p>基本計画（案）において、「オンリーワンの価値を持つ道の駅へ」をコンセプトに掲げており、道の駅エリア全体の意匠についても、その実現が図られるよう、今後、実施予定の基本設計等において、検討してまいります。</p> <p>また、基本計画（案）に記載のとおり、プロジェクト段階から計画や進捗状況に関する情報を発信することにより、より多くの人々に本計画を知ってもらい、道の駅に対して親しみや愛着を感じてもらえるよう、効果的な広報活動のあり方についても検討してまいります。</p>
7	<p>日本各地の道の駅によくある一見小綺麗な箱物は要りません。山里の風情を壊すような建造物や住民を置き去りにしたサービスは望みません。庶民の血税が地元の人の想いと暮らしに継続的に還元できる内容でありますようお願いいたします。</p>	<p>新しい道の駅エリアでは、周辺の自然環境に調和した塩江の顔に相応しいデザインを目指すとともに、観光客や地元住民等の多様なニーズに対応した機能の導入を検討してまいります。</p>
8	<p>計画の目標2にあるような「定住につながる」道の駅の具体的な形が見えてこない。先行事例含め、どのような機能がそれにあたるのか、見えているのだろうか。</p>	<p>道の駅エリアの整備によって、交流人口を増大させ、地域産業の維持・発展を図ることで、地域の方々が将来にわたって塩江地域に住み続けたいと思える、また、訪れた観光客等が住んでみたいと思えるような持続可能で魅力的なまちづくりを目指しており、今後の具体的な施設設計や仕組みづくりについて、地域や関係者の御意見も踏まえて検討してまいります。</p>

No.	御意見（要旨）	本市の考え方
第4章 条件整理		
9	<p>橋の新設について、既存の月見橋は残してほしい。 月見橋は旧道に向かう橋であって、あるべきところに架かっている。歴史もあるし、この辺りの象徴的な存在、かわいさと人気がある。撤去せず継続して活用すべきだ。月見橋にフォーカスを当てて「問題があるから撤去する」と言っているが、市内にあるそのたくさんの橋はそういう問題はないのか？あるなら撤去、という対応をするのですか？河川管理施設等構造令上の問題点とは何なのでしょう？こじつけに見える。</p>	<p>御意見のとおり、月見橋は歴史があり、地域の象徴的な存在であると存じており、当初、月見橋をいかした整備計画を検討しておりました。しかしながら、基本計画（案）の「4.2.1 橋の新設」に記載のとおり、月見橋は、災害の発生防止や河川環境の保全などを目的とする河川法（昭和39年7月10日制定、昭和40年4月1日施行）の施行前である昭和39年に架設され、同法に適合していない状態であることに加え、老朽化が著しく、必要な拡幅を行うこととした場合、新設ほどの施設寿命が期待できないこともあり、関係機関協議の結果、月見橋を撤去し、出入口を集約した新橋を設置することとしているものです。</p> <p>なお、温泉橋につきましては、整備エリアから少し離れた位置にあることから、利用者の利便性等を踏まえ、メインルートではなく、代替ルートして想定しています。</p>
10	<p>橋は既存の橋活用では無理なのか？ 専門的知識のない中での意見だし、十分検討を重ねた結果とは存じているが、新橋でない無理なのだろうか？白纒の滝の下の橋は架け替えるとして、月見橋と温泉橋を（補強して）一方通行で使うのでは無理か？「工事の時の重機が入らない」とかを聞いたことがあるが、それを理由に新橋の結論とするのはどうだろうか？今までも温泉橋や月見橋の上を砂利を満載したダンプカーが通っているのは何度も見た。</p>	<p>温泉橋につきましては、本整備事業において、月見橋とともに、工事車両の進入ルートとして想定しており、本整備工事終了後、必要に応じて対策等を実施してまいりたいと存じます。</p> <p>また、護岸工事につきましては、整備エリア内の市道笹谷線の改良工事に伴い、必要となった場合は、河川管理者の香川県と協議しながら、実施してまいります。</p>
11	<p>温泉橋老朽化の為のやり直しと護岸工事をしてほしい。 【同様の意見あり 計3件】</p>	<p>温泉橋につきましては、本整備事業において、月見橋とともに、工事車両の進入ルートとして想定しており、本整備工事終了後、必要に応じて対策等を実施してまいりたいと存じます。</p> <p>また、護岸工事につきましては、整備エリア内の市道笹谷線の改良工事に伴い、必要となった場合は、河川管理者の香川県と協議しながら、実施してまいります。</p>
12	<p>道の駅入口に信号機を。 (理由) 道の駅・病院が同じ所なので、高齢者も多いと思うので、安全の為に。</p>	<p>基本計画（案）の「4.2.3 信号機設置の検討」に記載のとおり、関係機関協議の結果、本区間は交通量が少なく、現時点において、その必要性は認められないことから、新橋交差点における信号機の設置は行わないこととしていますが、道の駅エリア供用開始後、利用状況によっては、信号機及び横断歩道の設置を検討してまいります。</p>
13	<p>公的医療機関として附属医療施設は有床の病院として地域住民になくてはならないものだと思う。ベッドをなくしての建て替えの計画は到底受け入れられない。 規模を縮小してもベッドは確保すべきである。 住民の安心安全の確保、医療福祉の充実・維持のためにもベッドをなくすのはやめて欲しい。 【同様の意見あり 計34件】</p>	<p>附属医療施設につきましては、国の医療制度改革による介護療養病床の廃止や、中山間地域の医療を担う医師・医療スタッフの確保が困難なことなど、様々な問題に直面する中、塩江地区唯一の医療機関として、将来にわたり存続させるためには、入院ベッドを持たない無床の施設として整備することが最善であると判断したものです。</p> <p>入院ベッドがなくなることへの対応として、附属医療施設とみんなの病院との連携を、より一層強化し、入院はもとより、専門外来の受診等、良質な医療提供がスムーズに行えるよう、独自の搬送手段を確保するなど、しっかりと取り組んでいくこととしております。</p>
14	<p>医療体制を充実強化させる。無床化計画は絶対反対です。 高齢者に優しい附属医療施設にしてください。 【同様の意見あり 計7件】</p>	<p>また、現在、塩江分院が実施している訪問診療や訪問看護などの在宅医療を引き継ぎ、その充実にも努めることとしており、塩江地区住民の皆様が、今後とも地元で安心して暮らしていけるよう、取り組んでまいります。</p> <p>附属医療施設整備後の診療科につきましては、基本計画（案）に記載の通り、「現在実施している泌尿器科や皮膚科外来など専門外来については、地域のニーズやみんなの病院での医師確保の状況による対応を図る」こととしております。</p>

No.	御意見（要旨）	本市の考え方
15	<p>高松市と塩江町の合併時の約束（入院施設は残す）が守られていない。</p> <p>【同様の意見あり 計2件】</p>	<p>合併協定に基づく建設計画では、保健と医療の充実したまちづくりとして、山間へき地医療体制の充実を図ることとしております。</p> <p>この建設計画を踏まえ、附属医療施設は無床となりますが、みんなの病院との連携を強化し、一体的な組織として、医師を確保するとともに、入院や、精密検査等が必要となった場合には、みんなの病院にスムーズに受け入れる体制を整えることとしております。</p> <p>このように、みんなの病院の入院機能や高度な医療機器、また、患者支援機能などの活用により医療体制の充実が図られますことから、附属医療施設を無床の施設として整備することは、合併協定に基づく建設計画と相反するものではないと考えております。</p>
16	<p>高松市塩江道の駅エリア整備基本計画（案）の中に附属医療施設のことを含まれていることに全く気がつきませんでした。</p> <p>あれほど問題になっていた塩江分院のことをわかりにくくしているのはひどいと思う。</p> <p>文書を読めばわかるが、テーマだけではわからない。</p> <p>【同様の意見あり 計3件】</p>	<p>附属医療施設の整備につきましては、平成22年3月策定の高松市新病院基本計画においてその内容を示しており、その後、平成29年9月の整備場所の決定や、30年11月の塩江地区地域審議会を経て、同年12月に無床化を決定した、病床規模・部門別計画等の見直しにつきまして、31年3月の地元説明会の後、平成31年4月に、同計画を変更いたしております。附属医療施設を含む当該エリアのコンセプト、配置等を決定する基本計画（案）では、高松市新病院基本計画の一部を抜粋して掲載しているものです。</p> <p>附属医療施設を含む当該エリアの整備につきましては、特に塩江地区の皆様に対しまして、塩江分院が発行する広報紙を活用し、無床化を選択した理由、無床化に伴う対応策、基本計画（案）のパブリックコメントの実施について周知を行ってきたものでございます。</p> <p>なお、高松市新病院基本計画及び変更内容につきましては、ホームページに掲載しておりますので御確認いただきますようお願いいたします。</p> <p>詳細につきましては、本市HP https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/kenkou/iryo/shinbyoutou/kaikaku.html）を御覧ください。</p>
17	<p>附属医療施設の整備場所は日当たりも悪く、冬季に強風が当たる大変寒い場所であり、不適当な場所だと思う。</p> <p>附属医療施設は、ことடன்バスターミナルと隣の駐車場場で整備し、2階部分を繋ぐ渡り廊下を作ればよいのではないか。</p>	<p>附属医療施設の整備候補地につきましては、平成21年3月の高松市新病院基本構想策定以後、塩江地区内で複数の候補地を検討してまいりましたものの、土砂災害の危険性などにより、選定が難航していたものでありまして、平成29年9月に、基本計画（案）の場所で、塩江地区のまちづくり拠点として、道の駅や温浴施設等の観光関連施設と附属医療施設を一体的に整備することとしたものです。</p>
18	<p>附属医療施設の整備場所は、旧塩江小学校が適当だと思う。進入路の確保がネックになったと聞いているが、既存の道路を整備すれば解決できるのではないか。耐震補強済の校舎を医療施設にリノベーションすると46億円の予算は少なくできるのではないか。</p>	
19	<p>附属医療施設の無床化について、未だに地域住民のコンセンサスを得られていない。どの段階において、どのような協議や合意があって、それについてどのような表現がされてきて、無床化したのか、今一度取りまとめて周知して欲しい。</p>	<p>附属医療施設の無床化への計画見直しにつきましては、平成30年11月の塩江地区地域審議会を経て、同年12月に無床化を決定した後、31年3月に、地元の単位自治会長、連合自治会の役員の皆様などを対象とした説明会を開催し、無床化を選択した背景や理由、無床化に伴う対応策について御説明してまいりました。その後は、地域住民の皆様のご要望に応じて説明会を行っておりますが、より多くの地域住民の皆様のご御理解を得ることが重要であると認識しておりますことから、今後におきましても、機会を捉えて、地域住民の皆様に対し、丁寧に説明してまいります。</p>

No.	御意見（要旨）	本市の考え方
20	<p>医療施設と観光施設があまりに近接しているのはいかがでしょうか。</p> <p>【同様の意見あり 計3件】</p>	<p>附属医療施設と道の駅・温浴施設等の観光関連施設を一体的に整備することで、心身がリフレッシュされる湯治場としての機能や医療施設と連携した健康の回復・増進機能などの健康づくりの拠点となる道の駅として、塩江地区の将来を見据えた持続可能なまちづくりの拠点となるよう整備を進めるものです。</p>
21	<p>「医療施設は入院設備は設けない」と決まっているものの、入院に近い環境を（医師の配置を義務付けられている）老人保健施設との連携で検討する余地はないのか。</p>	<p>附属医療施設は、無床の施設として整備いたしますが、みんなの病院との連携を図り、入院機能を始め高度な医療機能を利用することで良質な医療を提供することとしております。</p> <p>また、塩江地区の医療機関として老人保健施設との連携について、今後検討してまいります。</p>
22	<p>診療所が本当にできるのか不安である。あくまで病院の話しが先にあったことを忘れないで欲しい。</p>	<p>基本計画（案）は、当該エリアの整備コンセプトや施設の基本的配置等を整理するものです。基本計画の策定の後、具体的な施設設計を行っていく予定であり、早期開所を目指し、鋭意取り組んでまいります。</p>
23	<p>医療施設は平面（1階建て）で整備するべきだと思う。</p>	<p>限られた敷地において、医療施設や道の駅、温浴施設等の各施設が十分な機能を持ち、また、道の駅として駐車台数を最大限確保できる配置を検討する中で、2階建ての施設として計画したものです。</p> <p>なお、高齢者や障がいを持つ方が不便を感じず、安全に利用できる施設として整備いたします。</p>
24	<p>健康セミナーを定期的開催すれば良いのではないかと。</p>	<p>現在、塩江分院では、健康教室等を開催しており、附属医療施設整備後においても、関係機関と連携しながら、引き続き開催できるよう検討してまいります。</p>
第5章 配置計画		
25	<p>駐車場を広くとり、大型観光バスや流通の大型車が駐車できるよう工夫してほしい。</p> <p>【同様の意見あり 計4件】</p>	<p>駐車場につきましては、需要も考慮した上で、必要台数を算出し、限られた敷地の中で、可能な限り駐車スペースを確保するように計画しております。また、観光バスの来訪需要も想定しており、大型駐車スペースにつきましては、5台分を確保しています。</p>
26	<p>道の駅は、国道193号の川沿いへ。この図では、大型バスなどの多くの人々が国道を横断し、いっそう危険な事故が起きます。</p> <p>約15年、塩江町の道案内をしていますが、琴電ターミナルの前193号線の道を渡るのは、今も大変危うくハラハラで大変です。</p>	<p>御意見のとおり、現在の道の駅しおのえの前面道路（国道193号）付近は、カーブで見通しが悪いものと存じております。臨時駐車場の使用が必要なイベント時などは、交通誘導員を配置するなど、安全対策に努めたいと存じます。</p> <p>また、観光バスなどの大型バスの利用者につきましては、新しく整備予定のバス停において乗降し、バスは、現在のバス停部分に整備予定の大型駐車場に待機していただく、又は現在の道の駅しおのえ部分の大型駐車場にバスを駐車し、利用者には、行基橋を歩いて渡っていただくという運用を想定しております。</p>

No.	御意見（要旨）	本市の考え方
27	<p>道の駅の2F部分や、病院と道の駅をつなぐ通路部分に2Fプロムナードやバルコニーのような構造を設けて面白く、また塩江の景色がよく見えるような設計はできないだろうか。狭い土地を有効に使うための階層化を検討してほしい。</p> <p>（理由）</p> <p>予算や設計上難しいかもしれないが、国道側から見て「面白い、入ってみよう」と思うような形がよいのではないか。</p>	<p>観光の目的地として選ばれる道の駅の実現に向けて、御意見の趣旨も参考に、今後実施予定の基本設計等において、建築基準法等の各種規制面も確認しながら、自然豊かな塩江温泉郷の景色をいかした魅力的な施設となるよう、検討してまいります。</p>
28	<p>道の駅と病院を同時に利用する地元住民は多いと思う。それを鑑みて、両者を結ぶ通路の勾配は少なく、車椅子や手押しカートがすれ違えるような通路幅、傘をさせなくともよい屋根など、配慮がほしい。</p> <p>（理由）</p> <p>観光客だけではなく、地元住民が日常的に必要なものを、バリアフリーに揃えることのできる施設の形が重要ではないか。</p>	<p>基本計画（案）に記載のとおり、高齢者や障がい者等を含む利用者すべてに配慮したユニバーサルデザインが必要であると存じており、今後実施予定の基本設計等において、御意見のような、雨の日も利用者が利用しやすい動線なども含め、ユニバーサルデザインに配慮した、施設となるよう、検討してまいります。</p>
29	<p>観光窓口・観光情報コーナーは物理的スペースが必要なのか？</p> <p>5Gといった通信環境と、ここならではのwebコンテンツが必要なのであって、場所（スペース）は最低限でいいと思う。今がそうだ。利用しづらい区画されたエリアを作るべきではない。利用者側が様々なシーンで柔軟に利用できるユーティリティスペースを広く用意することを提案する。それがバリアフリー。</p>	<p>基本計画（案）では、導入機能や必要規模を整理しておりますが、御意見の趣旨を踏まえ、今後実施予定の基本設計等において、導入する機能や規模、平面計画等について精査してまいります。</p>
30	<p>塩江炭谷地区は昔から炭谷ゴボウの産地なので、このゴボウを使ってアイスクリームを売ってみては。</p>	<p>新しい道の駅エリアでは、地域資源を積極的に活用することで、地域産業の発展にも寄与することが重要であり、御意見の趣旨も踏まえ、地元関係者や、今後決定していく指定管理者とも協議・連携しながら、具体的な販売・サービス戦略を検討してまいります。また、こうした取組みに柔軟に対応できる施設設計を行ってまいります。</p>
31	<p>現在の道の駅に地元産品は少なく、今後もっと少なくなるように思われる。道の駅にきたら地元の産品を食べたり買ったりしたいものだと思うが、市はそれをどう考えているか。</p>	
32	<p>観光課がJAにもっと働きかけ、山間の観光農業、産物を盛んにするように、若者定住に対しても積極的になって、他の課をリードしてください。</p> <p>（理由）</p> <p>現在の物産センターには、低山歩きや自然探訪、中山間農業の拠点として若者にその魅力を伝えるコーナーがいたと思う。</p>	
33	<p>道の駅に、（ほかほか弁当のような）地元のお惣菜をパック詰めして持ち帰れるような機能をレストランと合わせて作ることはできないか。観光客だけでなく、家事負担が重い高齢者への福祉的な役割も期待できる。</p>	<p>御意見のとおり、地元住民の日常を支える機能も必要と存じております。特に、近年では、高齢化社会の進展や、新型コロナウイルス感染症の拡大を背景に、テイクアウト需要も増加しているものと存じます。具体的な運営手法につきましては、こうした需要も把握した上で、今後決定していく指定管理者の創意工夫に基づく提案をもとに、検討・協議してまいります。</p>

No.	御意見（要旨）	本市の考え方
34	<p>塩江らしい喫茶店がほしい。 コーヒー、紅茶、緑茶、ケーキ、和菓子（商品は少しでもいい） （理由） 喫茶店は、老人達、若者、あのあたりの住民は望んでいます。</p>	<p>現在の道の駅「しおのえ」には、カフェはありませんが、「行基の湯」に隣接してカフェ「ほのり」が運営されています。 新しい道の駅エリアにおきましても、観光消費の増大と交流人口の拡大を図るため、レストランやカフェの整備を計画しております。</p>
35	<p>道の駅には、おしゃれで、美味しいレストランやカフェを作っていただきたいです。 （理由） 塩江が大好きな友人が沢山います。皆さん、美しい自然の中で美味しい食事や素敵なカフェでお茶ができれば、もっと塩江に行くのに、と言っています。</p>	
36	<p>休憩・情報発信・地域連携機能（５）農産物直売・特産品販売コーナー、レストラン、カフェについて、今、整備するエリアで、頑張ってる店や事業をしている人たち、ポチポチやっていけたらそれがいいとそれなりにやってる（頑張ってますよ）も結構いらっしゃる。行政のこのプランに振り回されて巻き込まれるケース（営業休止ということ）も間違いなく出てくる。そういう想定とそれらに対する方策の考慮はしているのか？それに対する方策はこの計画の中に盛り込むべきと考えるのがいがか。</p>	<p>基本計画（案）に記載のとおり、塩江温泉郷のポテンシャルを踏まえるとともに、将来の塩江地区を見据えた持続可能なまちづくりとして、「オンリーワンの価値を持つ道の駅へ」を基本方針に掲げ、道の駅を核として、周辺地域までにぎわいが連鎖する、「にぎわい・交流の拠点としての道の駅」を整備方針の一つとして掲げております。 観光振興や産業振興を図る上で、新しい道の駅エリアの誘客効果を宿泊・飲食等の民間施設へ波及させることが重要と存じており、その仕組づくりなどについて、塩江温泉観光協会や塩江温泉旅館飲食協同組合などの関係団体とも連携・調整してまいります。</p>
37	<p>多目的スペースに、ブックカフェを作ってください。 （理由） 本や絵本やマンガを置き、子供達に絵本の読み聞かせもできるコーナーを作れば、自然の中でゆっくりと過ごした小さい頃の楽しい思い出が増え、ずっと塩江のことを好きでいてくれることでしょうか。そして、その子供達が大人になった時、また塩江に来てくれることでしょうか。</p>	<p>基本計画（案）の「5.2.3 その他の機能（１）多目的スペース」に記載のとおり、他都市（先進地）では、夏休み期間中は「読み聞かせコーナー」とするなど、利用者のニーズに合わせてスペースを活用している事例があります。新しい道の駅エリアにつきましても、今後実施予定の基本設計業務等において、利用者のニーズに合わせた活用が可能なスペースについて、検討してまいります。</p>
38	<p>多目的ホールはいろんなことができるスペースがありますが、ある程度使う目的を想定した設備がないと使いにくいのではないかと。観劇や勉強会を行うための椅子や机、プロジェクタ・スクリーンなどの設備と、ワークショップなどに使うための多くの（容量も確保された）電源ケーブルが必要だと思う。 （理由） お祭りにも、地元住民の集会にも、外部の人の持ち込み企画にも使える施設になってくれたらありがたい。</p>	<p>御意見のとおり、多目的スペースにつきましても、使用目的を想定することが必要と存じており、今後、実施予定の基本設計等において、必要な設備等も検討してまいります。</p>

No.	御意見（要旨）	本市の考え方
39	<p>基本計画（案）の中で、温浴施設の規模が現施設と同等規模とあるが、現施設は立地上と思われるが、全体的に非常に狭い。特に、浴槽と洗い場との間隔が狭く、洗っている人のシャワーの水や石鹸の泡が浴槽に入ってきており、非常に不快で非衛生的である。そのため、温浴施設裏側の駐車場を除け、浴槽と洗い場の面積をもう少し拡充してもらいたい。また、浴槽から裏側の景観が楽しめるようにしてもらいたい。</p>	<p>「行基の湯」は、浴場棟が318.48㎡、露天風呂が約25㎡、家族風呂棟が17.28㎡、休憩所（やすんば）が116.6㎡、合計約478㎡となっており、新しい温浴施設の規模は、この面積と同等の約500㎡を必要規模として整理しています。新しい温浴施設につきましては、御意見も踏まえ、衛生的に快適に利用できることを念頭に、今後実施予定の基本設計等におきまして、導入する機能や規模、平面計画等を精査してまいります。</p>
40	<p>塩江の顔となる機能（1）温浴施設に関して、新たに療養泉（湯元塩江温泉）の活用を検討とあるが、“新たに”とは？今まででも医療施設における療養泉としての利用が計画されていたはずだが、それとの整合性は？</p> <p>現在の行基の湯とやすんばの施設は、場所を変えて新たに建築するということか？つい2年前に休業して耐震補強工事をしたはずだし、元々しっかりとした材料で趣のあるいい建物のはずだ。</p> <p>湯元の源泉は今のままでは湧出量が少なく、活用は限られるだろう。湯元温泉が無くなって以降、湯元の源泉の泉質の良さを求めて源泉を汲むファンも多い。それは継続できるのか？</p> <p>さらに、温泉権は現在どうなっていて、これからどうする予定なのか？六角堂のすぐ下の川底から泡がプクプク出ているところがあるのをご存知だろうか？昔温泉水をそこで汲み上げていたであろう囲いもあって、時代とともに少しずつ温泉水が出る場所が移動していることがうかがわれる。その“泡がプクプク”の量は六角堂の底から上がってくる泡の量よりはるかに多い。そちらの開発に少し予算を回してもいいのではないか。</p>	<p>湯元塩江温泉のある鉱泉地につきましては、私有地であり、本整備事業において、この用地を取得し、温浴施設と医療施設の両施設において療養泉を活用する計画としています。なお、今後実施予定の基本設計等において、御意見の内容も参考に、温泉資源の活用と整備内容を検討してまいりたいと存じます。</p> <p>また、「行基の湯」につきましては、その機能を新たに整備する施設に移転させ、現在の建物は除却する計画ですが、それまでの間、営業を継続するため、平成29年2月1日から平成30年11月10日まで休業し、必要な調査・改修を行ったものです。</p>
41	<p>温泉を活用した、特色ある道の駅を目指す必要があると思います。</p> <p>（理由）</p> <p>温浴施設は、現在の行基の湯と同程度の計画ですが、塩江の道の駅は、温泉を全面に売り出し、温泉施設を目玉にし、さらに拡充して魅力ある施設とし、利用者を増やす様にする必要があると思います。</p>	<p>本市では、高松の奥座敷とも言われる塩江温泉郷を「オンリーワンの価値を持つ温泉郷」に磨き上げるための指針として、平成29年3月に「塩江温泉郷観光活性化基本構想」を策定し、この実現に向けた取組みの一環として、この度、道の駅エリアの整備を実施するもので、「オンリーワンの価値を持つ道の駅へ」をコンセプトに掲げております。特に、温浴施設につきましては、塩江の顔となる機能として位置づけており、魅力的なものとなるよう、設計等を進めてまいります。</p>
42	<p>足湯は、今より利便性も清潔感もあるものがよい。前の人が出た時に弾いた水が座席に残るのは気分の上でも、衛生上もよくない。例えば椅子を可動式にして足を座席の上に上げなくても出入りできるようにするなど、工夫できないか。また、ちょっとした飲み物などを置ける台があると、よりくつろいでくれる人が増えるのではないか。</p>	<p>御意見のとおり、足湯につきましては、清潔感と利用者の利便性が確保できるよう、他都市の事例も参考にしながら、今後、実施予定の基本設計等において、検討してまいります。</p>

No.	御意見（要旨）	本市の考え方
43	日用品コーナーは、小さいスーパーのような品揃えで、（薬剤師のいない）薬等も扱ってほしい。	基本計画（案）の「5.2.5 アンケート調査から得られた機能」に記載のとおり、地元住民の日常生活を支える機能として、日用品売場を導入機能として位置付けております。なお、どのような品揃えにするかなどの具体的な運営手法につきましては、今後決定していく指定管理者とも、検討・協議等してまいりたいと存じます。
44	日用品売り場の併設は望ましい。 （理由） 道の駅に日用品売り場を併設することは、地域住民の利便性が向上するので望ましいと思います。できればコンビニの参入を検討してください。	また、基本計画（案）において、コンセプトや整備方針に基づき、限られた敷地面積の中で、導入機能を整理いたしました結果、コンビニエンスストアの誘致・設置につきましては、難しいものと存じております。
45	エリア内及び病院内にコンビニエンスストアの誘致、設置 （理由） 道の駅構内なので設置は難しいと思いますが、高齢者の買物、若者向け、色々なチケットの取扱いに便利では。	また、基本計画（案）において、コンセプトや整備方針に基づき、限られた敷地面積の中で、導入機能を整理いたしました結果、コンビニエンスストアの誘致・設置につきましては、難しいものと存じております。
46	せっかくの香東川が、今の施設からはあまり見えない。温泉、足湯含め、もっと川らしさが生かされた道の駅にしてほしい。 （理由） 今年の夏、道の駅横の川遊びの人数は大変多かった。観光客が塩江に求めてくるものを提供できる施設のデザイン、機能をしっかり実現することが重要。	公衆浴場につきましては、関係法令及び条例に基づき、外部から見通せない構造が必要であり、施設と香東川との高低差の関係から、新しい温浴施設につきましても、香東川の眺望の確保には難しい面があるものと存じております。 他方で、特に今年は、新型コロナウイルス感染症の拡大を背景に、自然豊かな観光地等が人気を集めているものと存じており、こうした需要などを的確に把握し、施設整備に反映させることが必要と存じます。足湯や遊歩道につきましては、なるべく川の眺望を確保するなど、今後実施予定の基本設計等において、香東川を含めた自然豊かな塩江温泉郷を感じることができる施設となるよう、検討してまいります。
47	散策路について、薬師堂も含めて歴史的文化的価値は高いはずなので、是非よろしく願いたい。	基本計画（案）の「5.2.4 塩江地区の顔となる機能」に記載のとおり、既存の魅力的な資産や自然を活かし、歩くことが楽しくなる散策路の整備を検討してまいります。
48	道の駅から塩谷や塩江六甲に抜ける散策路ができれば面白い。 （理由） 塩江の自然を道の駅から手軽に満喫できるような工夫があったら、きた人が喜ぶと思う。	基本計画（案）の「5.2.4 塩江地区の顔となる機能」に記載のとおり、既存の魅力的な資産や自然を活かし、歩くことが楽しくなる散策路の整備を検討してまいります。
49	エリア内に銀行ATMの設置 （理由） 都市、地方銀行のATMが塩江町内に皆無なので。	基本計画（案）の「5.2.2 休憩・情報発信・地域連携機能」において、外国人観光客のニーズが高いサービスの提供として、海外対応のATMの設置なども検討することとしており、銀行ATMの設置につきましても、今後、実施予定の基本設計等において、検討してまいりたいと存じます。

No.	御意見（要旨）	本市の考え方
50	道の駅に入ったあと、左回り一方通行なのは理解できるが、最初に目に入るのが病院だと「観光の目的地としての道の駅」にはふさわしくないのではないか。病院を動かすことも難しいように思われるので、デザイン等で気分を盛り上げる工夫が必要。	No.20の回答にも記載のとおり、附属医療施設と道の駅・温浴施設等の観光関連施設を一体的に整備することで、心身がリフレッシュされる湯治場としての機能や医療施設と連携した健康の回復・増進機能などの健康づくりの拠点となる道の駅として、塩江地区の将来を見据えた持続可能なまちづくりの拠点となるよう整備を進めるものです。 その実現に向けて、意匠につきましても重要な要素と存じており、今後実施予定の基本設計等において、検討してまいります。
51	道の駅は狭いので、昔の新温泉でどうでしょうか。	現在の道の駅「しおのえ」では、休日などで慢性的な車両混雑がみられておりますことから、基本計画（案）に記載のとおり、近接する敷地において、適正な規模を確保し、整備する計画としております。
52	旧湯元温泉の土地が荒れ放題なので整備して、桜やもみじを植えてほしい。行基の湯や道の駅に来られたお客様が心や体が癒されて帰って頂けるようにしたい。 【同様の意見あり 計3件】	旧湯元温泉の土地につきましては、私有地であることや、道の駅施設などとの一体的活用が見込めないことなどから、本整備事業のエリアには含めていないものです。
53	「アンケート調査から得られた機能」は民業圧迫にならないのか？ ここはゲートウェイの役割を果たす場所であって、ここからあっち行き、こっち行きと散らばっていく場所の役割ではないのか？	基本計画（案）に記載のとおり、塩江温泉郷のポテンシャルを踏まえるとともに、将来の塩江地区を見据えた持続可能なまちづくりとして、「オンリーワンの価値を持つ道の駅へ」を基本方針に掲げ、道の駅を核として、周辺地域までにぎわいが連鎖する、「にぎわい・交流の拠点としての道の駅」を整備方針の一つとして掲げております。 観光振興や産業振興を図る上で、新しい道の駅エリアの誘客効果を宿泊・飲食等の民間施設へ波及させることが重要と存じており、その仕組づくりなどについて、塩江温泉観光協会や塩江温泉旅館飲食協同組合などの関係団体とも連携・調整してまいります。
54	施設規模については、さらなる検討が必要とします。 （理由等） 施設規模は、整備後の維持管理費等も含めて採算面からも検討する必要があるのではないのでしょうか？ 地域の農産物、特産品は少量であり、今後地域の生産者の高齢化により、さらに減少すると思われる。また、レストランの利用者も想定よりかなり少ないと思われる。過大な売り場、レストランは、将来への負の遺産になりかねない。地域の実情にあった施設規模とするべきだと思います。	基本計画（案）は、導入機能や必要規模を整理したものであり、今後実施予定の基本設計等において、民間事業者や地元関係者等の御意見も参考にしながら、導入する機能や規模、平面計画等について精査してまいりたいと存じます。

No.	御意見（要旨）	本市の考え方
55	<p>以下のような設備や機能等があれば良いと思う。【1団体】</p> <p>カフェ、顔出しパネル、うどん作り体験、釣り体験、マルシェ開催、虫取り網・釣り竿貸出し、自転車貸出し、多言語パンフレット、標識を増やす、塩江牧場のアイス、あんもちぞうに、そば、喫煙所、託児所、バリアフリートイレ、ベビールーム、ドッグラン、広場、コンビニ、キャンプ施設、足湯、更衣室、和風で映えるカフェ、足湯の種類を増やす（ドクターフィッシュ、お花の足湯）、露店を作る、ゴミ箱を多めに設置、写真スポットを作る、街灯を増やす、案内標識を分かりやすく、レジャー施設を作る、夜ライトアップする、自然体験できるイベントを増やす、浴衣の貸出し、通信環境（充電スポット、WiFi）、商品券・割引券、SNSの活用、人の多い所にパンフレット・ポスター設置、地元の人だけが使っている施設になりそう、絶景ポイント（景色の良い場所）を作り写真映えを意識する、塩江の歴史・レトロ・モダン感を出す、もっとオンリーワン感が欲しい、トイレ施設は気持ちよく利用したいものであると思うので、広く・きれいで高齢者や障がいを持った方も便利にりようできるものがよい、多目的スペースや売店などは塩江の歴史を感じさせる自然をモチーフにしたデザインがよい、温泉だけでなく気軽に利用できる足湯の場をつくるとよい、空港から近い温泉郷は少ないことを知って、それをもっと空港でアピールするとよい、Google Mapに表示されなかったり、場所が分かりにくい（不動の滝）、もっと自然で遊べる施設（木のプランコ・ロープウェイ・ターザンロープ）、基本計画の中にレストランとカフェ2つあるが1つにしぼった方が誰でも分かりやすいのではないかと、インバウンドの人にアンケートをとってほしい、外国語表記の看板設置、塩江らしいオブジェ・アート作品を作る、塩江が一望できるホテル、案内板設置、温泉からの無料シャトルバスを出す、バリアフリートイレを増やす、インスタ映えするような料理や写真スポット、アートとスタンプラリーを組み合わせたスポットを作る、山頂に展望台設置、ロープウェイを作る、塩江温泉ツアー</p>	<p>観光の目的地として選ばれる道の駅への転換を目指し、今後実施予定の基本設計等において、いただいた御意見等も参考にしながら、導入する機能や規模、平面計画等について精査してまいります。</p>

No.	御意見（要旨）	本市の考え方
第6章 民間活力の導入		
56	<p>指定管理者の制度がどのようなものなのか、あるいはどのように決まるのかが地元に見えていない。今後の対応含め、詳しく知りたい。</p>	<p>指定管理者制度とは、多様化する市民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減を図ることを目的としており、地方自治法に基づく公の施設の管理について、市議会の議決を経て指定される指定管理者に委任する制度です。</p> <p>詳細につきましては、本市HP （https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorkumi/gyosei_kaikaku/shiteikanri/ooyake.html） を御覧ください。</p>
57	<p>指定管理には地元業者が入り、儲けたら儲けた分だけ地元へ落ちる仕組みだと業者が頑張れると思う。 （理由） 地元の人々が愛着を持つためにはやはり地元業者が運用することが大事だと思うが、道の駅が安定しつつ、ちゃんとお金が回る仕組み作りが必要だと思われる。</p>	<p>本市では、指定管理者の創意工夫による管理運営や企画事業の実施を促すため、利用料金制の採用を原則としており、施設利用者の増加に伴う収益が指定管理者に還元され、経営努力の動機付けとなるようにしております。指定管理者の選定に当たっての条件等につきましては、指定管理者が公の施設を適切かつ効果的に管理運営できるよう、今後検討してまいります。</p>
58	<p>「地域を訪れた人が最初に訪れるゲートウェイ」とあります。そのゲートウェイによって塩江地域全域に効果が波及することを期待します。そんな計画策定となるようお願いいたします。</p> <p>平面図を作ろうと箱庭を賑やかにするために、こういう目的や機能の施設や部屋をこれだけの広さで設ける、という二次元的プランに重きをおいている印象が強く、バブル前のハコモノ行政の域を出ていない印象です。</p> <p>46億円もの事業予算を想定されていますが、決して持続可能とは言えないのではないのでしょうか？維持管理のスキームが見通せるものには見えませんでした。</p>	<p>基本計画（案）において、道の駅を核として、周辺地域までにぎわいが連鎖する、「にぎわい・交流の拠点としての道の駅」を整備方針の一つとして掲げております。また、基本計画（案）は、導入機能や必要規模を整理したものであり、今後実施予定の基本設計等において、民間事業者や地元関係者等の御意見も参考にしながら、導入する機能や規模、平面計画等について精査してまいります。</p> <p>また、道の駅の整備にあたっては、国の補助金等を最大限活用してまいるとともに、民間活力を生かせる管理運営の仕組みを構築することで、魅力的で持続可能なエリアを形成してまいります。</p>
59	<p>道の駅の労働者をこれから塩江で確保できるかどうか不安。 （理由） 地元から管理先と雇用を出すことが最優先だとは思いますが、それに耐えうる力がどこまで続くかの不安はある。</p>	<p>道の駅エリアの整備を通して、地域経済の活性化を図るために、新たな就労機会の創出や、安心して働き続けられる環境づくりなどの観点からも、施設の運営手法等について、検討してまいります。</p>

No.	御意見（要旨）	本市の考え方
第7章 今後の進め方		
60	<p>事業スケジュールについて、現在施設利用者への影響とその施設で営業する事業者や従業員への影響とその対策を説明されたし。</p> <p>少なくとも、道の駅、温泉施設、行基庵、ほのりは本事業で影響を受ける。こういう意見があります。2017年2月から2018年11月でしたか、行基の湯の耐震工事に伴う休業は、実際の工事期間は半年だったにもかかわらず、ほぼ2年閉めている。営業補償もなく、関係者が大変苦労した。今回もそうなら体力は持たない。また、新しく飲食施設ができたとして、それがあきたりのテナントが入るのなら塩江にそれが意味はない。山一番のようにチョコッとやって採算取れないからすぐやめて廃墟（空きテナント）になる、とかは勘弁してほしい。今の根強い人気はしっかり考慮すべきだ。</p>	<p>「行基の湯」や道の駅「しおのえ」を含む「高松市塩江湯愛の郷センター」の管理につきましては、平成29年4月1日から令和4年3月31日までの間、塩江温泉旅館飲食協同組合を指定管理者として指定し、業務を委託しております。本指定管理業務期間の終了後に、現施設の解体など整備工事に着手することを想定しておりますが、工事の進捗状況に応じて、できる限り現施設の運営が継続できるよう調整してまいります。</p> <p>また、飲食施設を含め、新たに整備する施設への運営につきましては、今後決定していく指定管理者とも協議・連携しながら、魅力的で持続可能なものとなるよう、検討してまいります。</p>
61	<p>これから実際のデザインや内部設計を行うにあたり、どのように市や施工業者が地元の意見を聞き、地元大切にされる道の駅を作っていくのが明確に見えてきていない。地域審議会も行われなくなる中、DMO創設に向けて道の駅に対して地元の様々な業種、利用者を糾合していくのを高松市側からも提案していただくことはできないだろうか。</p> <p>（理由）</p> <p>私が勝手に連合自治会や地域の集まりにて皆様の道の駅に対する意見やビジョンを伺ったところ、やはり地元だけで完結して良いものができるとは思えず、外部の知見が必要なことは明らかだった。しかしながら、住民の意見の中にも光るものがたくさんあり、また磨き上げれば有効だと思われるものが多くあった。そして高松市はまだまだそれらを浚い切れていないと実感した。なにより、どんなに良いものでも地元が考え、選ぶプロセスが強くなければ愛着は生まれない。地元の人が誰に言われなくてもお掃除をしにくるような、愛される道の駅のためにも地元の意見にもっと耳を傾けるプロセスを重視することが必要だと考える。</p> <p>【同様の意見あり 計3件】</p>	<p>道の駅エリアの整備では、地域活性化や住民の高齢化など塩江地区が抱える課題にも的確に対応していくことが重要と存じております。そのため、設計にあたっては、地元住民との意見交換や関係団体等へのヒアリングを行うとともに、ワークショップの開催についても検討するなど、地域の皆様から愛される道の駅となるよう努めてまいります。</p>
62	<p>塩江の観光に携わる人たちが一堂に会して道の駅について話し合う場がないのは問題。</p> <p>（理由）</p> <p>地元が率先してまとめるのが難しい土地柄でもある。DMOの創設に向けて、どのような施策をするべきか、市からも助言と助力があった方がよいのではないか。</p>	
63	<p>概算事業費の内訳は？</p> <p>用地取得、医療施設整備、道の駅整備、橋の架橋と撤去など事業対象は広範囲であり、その積み上げが4.6億という大きな金額だ。概算内訳は住民の関心事である。</p>	<p>基本計画（案）における概算事業費につきましては、他都市の事例等を参考に、規模等からおおよその事業費（全体事業費）を算出したものです。各項目ごとの事業費（内訳）につきましては、設計等を実施した上で算出するものです。</p>